

# 「共働き・共育て」徳島県の取り組み紹介 子育てをみんなで応援しよう!!

近年、価値観やライフスタイルの多様化などに伴い「共働き世帯」が年々増加しています。一方、令和5年度に県が実施したアンケート調査では、平日、家事・育児にかかる時間について、男性の約7割が2時間未満、女性の約8割が2時間以上という結果が出ました。子育ての現場では女性に家事・育児が偏っていることがわかります。

また、企業における男性育休取得率は、近年上昇していますが、その取得期間については、半数以上が「1か月未満」にとどまっており、男性が家事や育児に主体的にかかわるためには、十分とは言えない状況です。

この現状を変えていくには、職場、地域社会全体が連携し、仕事と子育てを両立できる環境づくりが必要です。そのため、

徳島県子ども未来部 子育て応援課  
次世代育成担当  
東 光子さん、森脇有一さん



県では今年度、男性の長期間の育休取得促進や、周りの社員へのフォローなど、「子育てしやすい職場環境づくり」に取り組む中小企業の支援として「共働き・共育て」応援奨励金を創設し、取組の後押しを行っています。また、企業の経営層に向けた、職場風土改革のためのセミナーの開催や、若い世代と連携し、「共育て」をテーマとしたコンテンツを作成、発信するなど、社会全体で「共働き・共育て」を応援する気運の醸成につなげたいと考えています。

## 「共働き・共育て」とは

男女ともに、仕事と子育てを両立でき、職場や地域も含め、協力しながら家事・育児を行うこと。※令和7年3月に策定した「徳島県子ども計画(R7～R11)」の基本目標の一つに「共働き・共育ての推進」を掲げています



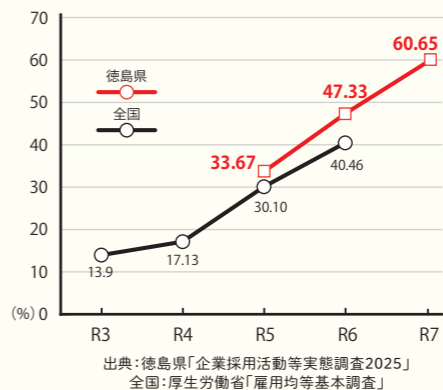
## 平日の家事・育児時間(徳島県)

2時間未満			
男性	65.3%	女性	16.8%
2～4時間未満			
男性	22.7%	女性	32.6%
4～6時間未満			
男性	7.9%	女性	20.0%
6時間以上			
男性	3.7%	女性	29.3%

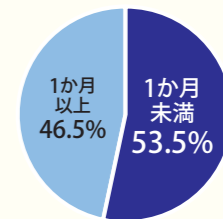
出典:令和5年度結婚・子育てに関するアンケート調査(徳島県)



## 男性の育休取得状況(徳島県)



## 男性育休の取得期間別の状況(徳島県)



## 「共働き・共育て」応援奨励金

奨励金は4つのメニューがあり、取組に応じて、1事業主最大50万円を支給



## 若い世代と「共育て」を発信

四国大学書道部と連携し「共育て」をテーマに書道パフォーマンス作品を創作。現在、あすたむらんど徳島子ども科学館で展示中、3/15まで



## 「共育て」SNSキャンペーン

昨年12月に募集した「共育て」エピソードをもとに、福富弥生さんが作詞・作曲。完成した曲には振り付けも加え、3月中に、特設サイトやSNS等で発信予定



「共働き・共育て」を推進する西精工(株)

「仕事と子育ての両立」への取り組み紹介

西精工で初めて「産後パパ育休」を取得した山下雄介さんと妻の暁子さん、  
労務係係長 渡辺敏江さんにお話を伺いました。

Q 育休取得への不安はありましたか？

【雄輔さん】仕事を休むことで申し訳ない気持ちは正直ありました。育児もなんとなくの知識しかなかったので仕事と子育てを両立できるのか不安も大きかったです。

Q 育休取得へどんな準備をしましたか？

【雄輔さん】育休を分割できる「産後パパ育休」を取れないかと渡辺係長に相談しました。それから約半年かけて渡辺係長、チームメイト、関連部署の仲間がスムーズに育休を取れるよう準備してくれました。

Q 育休取得で仕事と子育てに変化はありましたか？

【雄輔さん】ほぼ毎日あらゆる家事や育児をしました。特に子どもが生まれてすぐの貴重な期間に、子どもの成長を間近で見ることができました。初めて笑った瞬間など小さな成長の喜びを感じられた経験は大切なものになりました。また、夫婦の絆や連携も深まりました。

【暁子さん】産後は体調が万全ではなかったのですが、退院時に夫が家にいてくれたことで家事・育児の面でとても助かりました。夫が育休を取得してくれたことが精神的な支えになり、産後の生活や育児に対する不安が軽減されました。この子を育てるのは自分一人じゃなく、夫婦で一緒に育てるんだと実感することができました。

【雄輔さん】夫婦でお互いに子育ての大変さや、喜びを一緒に体験してきたことが、今後の子育てに活かされています。会社の風土として、仕事と子育てを両立しやすい雰囲気があったことにも本当に感謝しています。こうした制度と人の両面でのサポートがあったからこそ、安心して育休を取得し、復帰後も仕事を続けられています。今度は、みんなが休みやすく、育休も取りやすい環境を作る側になりたいと思っています。



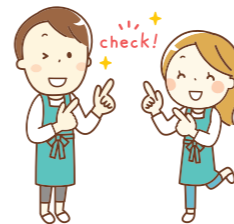
(前列) 山下雄介さん、暁子さん夫婦  
(後列) 渡辺敏江係長

Q 「仕事と子育ての両立支援」の取り組みを教えてください

【渡辺さん】弊社では男性社員の育休があたりまえになる職場づくりを行っています。山下さん以前の男性社員の育休は1週間程度でしたが、山下さんの28日間の「産後パパ育休」取得を機に、県の創設した「共働き・共育て」応援奨励金を受給するなど、積極的に男性社員の育休取得を推進しています。育休中の社員にはグループウェアでの情報共有や、全体朝礼にZoomでの出席ができます。制度の充実だけでなく、社員同士がお互いを理解しサポートし合う職場風土があるからこそ「仕事と子育ての両立」が実現できています。

「共育て」名前のない家事チェックシート

炊事、洗濯、掃除と言っても、その準備から片付けまで様々な作業が必要です。生活の中にあるこうした「名前のない家事」を皆さんの家庭では誰が担っているのか、誰かに負担が偏っていないかなど、チェックリストで確認してみましょう。



3種合計ポイント		
自分	パートナー	その他

食事	自分	パートナー	その他
献立を考える			
食材の買い物			
食器類の準備・配膳			
食器洗い			
冷蔵庫の整理、期限チェック			
調味料の補充・交換			
お茶・氷をつくる			
シンク(排水溝)の処理、清掃			
コンロなど調理器具の掃除			
チェックポイント合計			

洗濯・掃除	自分	パートナー	その他
洗濯機のフィルター掃除			
洗濯物を干す			
洗濯物の取り込み・収納			
アイロンがけ(クリーニングに出す)			
トイレや洗面所のタオル交換			
ゴミの分別、新しいゴミ袋のセット			
捨てるペットボトルや缶の洗浄			
捨てる雑誌、新聞、段ボール等を束ねる			
エアコン掃除、加湿器等の給水			
チェックポイント合計			

その他	自分	パートナー	その他
トイレトペーパー、ティッシュの補充・交換			
洗剤、シャンプーの補充・交換			
郵便物の確認・仕分け			
服の整理・衣替え			
家の管理・部品交換			
車の管理(給油、洗車、メンテナンス等)			
家計管理			
地域の行事、会合等への参加			
パートナーへ感謝の気持ちを伝えている			
チェックポイント合計			